

# 第16章 災害・消防・警察・海上保安

1 災 害	373
16-1 平成24年中の台風・大雨等による被害状況	374
16-2 市町村別台風・大雨等による被害状況	374
16-3 年次別台風・大雨等被害状況	375
2 消 防	376
(1) 火災発生状況	
(2) 消防現勢	
16-4 市町村別の火災発生状況	377
16-5 月別火災発生状況	377
16-6 原因別火災発生状況	378
16-7 大火災発生状況（損害額2,000万円以上）	378
16-8 消防現勢	378
3 警 察	379
(1) 交通事故発生状況	
(2) 刑法犯発生状況	
16-9 市町村別交通事故発生状況	380
16-10 刑法犯市町村別発生状況	381
4 海 上 保 安	382
16-11 海難事故の発生状況	382
16-12 海上における人身事故	383
16-13 機動力（巡視船艇）	383
16-14 民間救助組織	383
16-15 船舶交通安全協議会	384
16-16 奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況	384
16-17 奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会	384



# 1 災 害

平成24年は、6月9日から大雨をはじめ、8月から10月始めにかけて、台風15号・16号・17号が奄美群島を直撃する等の進路を取ったことにより近年にない大きな災害をもたらした。

人的被害については、8月に発生した台風15号により、奄美市において1名の方が亡くなられ、昨年にひき続いての死亡者の発生となった。

また、被害額については、約77億3千万円となり、昨年比では約18億円の増加となった。年間の被害額を項目別に見ると、公共土木施設被害が約27億2千万円（被害総額の35.2%）で最も多く、次いで農林水産被害の約23億4千万円（同30.2%）などとなっている。

16-1 平成24年中の台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

期 間	台 風 大 雨 等	人的被害 (人)		住 家 被 害 (棟)					非住家 被 害 (棟)
		死 亡 不 明	負 傷	全 壊	半 壊	一 部 破 損	床 上 浸 水	床 下 浸 水	
24. 5. 1	大 雨	0	0	0	0	0	0	0	0
24. 6. 9~6. 11	大 雨	0	0	0	0	1	3	75	1
24. 6. 18~6. 19	台風4号	0	0	0	0	0	0	0	0
24. 6. 20	大 雨	0	0	0	0	0	0	1	0
24. 8. 5	台風11号	0	0	0	0	0	0	0	0
24. 8. 25~8. 29	台風15号	1	0	9	42	728	5	106	89
24. 9. 15~9. 17	台風16号	0	0	23	94	651	4	54	196
24. 9. 28~10. 1	台風17号	0	7	35	153	1,427	109	427	443
24. 10. 17~10. 18	台風21号	0	0	0	0	3	0	0	1
合 計		1	7	67	289	2,810	121	663	730

※期間は、災害警戒本部設置から廃止までの期間である。

16-2 市町村別台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課

期間：平成24年1月~12月

単位：千円

区 分 市町村名	人的被害 (人)	農林水産業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 林 水 産 被 害	そ の 他	合 計
奄 美 市	1	407,194	334,790	179,267	121,520	73,603	1,116,374
大 和 村	1	51,977	239,610	4,163	0	800	296,550
宇 検 村	0	6,090	517,220	238,000	1,531	42,950	805,791
瀬 戸 内 町	1	558,211	1,092,665	18,513	34,424	37,967	1,741,780
龍 郷 町	0	12,063	177,554	5,265	12,456	17,470	224,808
喜 界 町	0	92,984	3,000	18,608	289,862	0	404,454
徳 之 島 町	3	53,117	165,255	93,427	428,469	29,000	769,268
天 城 町	0	75,187	169,517	0	307,673	2,000	554,377
伊 仙 町	0	6,000	0	3,150	583,246	0	592,396
和 泊 町	1	48,437	8,500	14,673	163,859	0	235,469
知 名 町	0	39,976	300	150	210,141	0	250,567
与 論 町	1	102,144	13,711	29,700	186,277	410,610	742,442
合 計	8	1,453,380	2,722,122	604,916	2,339,458	614,400	7,734,276

資料：大島支庁総務企画課  
 期間：平成24年1月～12月

被 害 金 額 (単位：千円)										備 考  被害地域等
農 林 水 産 業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 産 被 害	林 産 被 害	畜 産 被 害	水 産 被 害	商 工 被 害	そ の 他	計	
0	8,473	0	0	0	0	0	0	0	8,473	龍郷町・喜界町
137,875	657,124	2,088	406	0	0	0	0	8,050	805,543	奄美群島北部
0	800	0	651	0	0	0	0	0	1,451	奄美群島北部
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	奄美市
0	0	0	250	0	0	0	0	0	250	奄美市
436,963	800,163	307,183	830,729	1,750	11,756	10,292	51,843	25,500	2,476,179	奄美群島全域
77,879	39,954	34,166	557,483	0	15,670	0	60,550	0	785,702	奄美群島全域
775,663	1,213,808	256,479	728,549	400	164,520	2,880	465,040	3,417	3,610,756	奄美群島全域
25,000	1,800	5,000	14,122	0	0	0	0	0	45,922	徳之島町・喜界町
<b>1,453,380</b>	<b>2,722,122</b>	<b>604,916</b>	<b>2,132,190</b>	<b>2,150</b>	<b>191,946</b>	<b>13,172</b>	<b>577,433</b>	<b>36,967</b>	<b>7,734,276</b>	

### 16-3 年次別台風・大雨等被害状況 (数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課  
 期間：平成24年1月～12月  
 単位：千円

年次	区分	住家等	農林水産業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 林 水 産 被 害	そ の 他	合 計
	平成 13		17,158	13,400	50,500	5,395	766,708	12,705
14		476,376	246,234	313,700	108,825	958,647	184,938	2,288,720
15		58,387	50,426	306,525	44,757	815,988	126,567	1,402,650
16		—	395,149	2,070,314	327,493	1,669,073	312,971	4,775,000
17		—	226,395	915,665	109,980	127,524	39,612	1,419,176
18		—	17,000	109,597	700	19,380	7,500	154,177
19		—	20,130	333,400	87,607	216,495	47,230	704,862
20		—	34,742	100,547	2,000	682	176	138,147
21		—	26,162	899	6,290	68,897	570	102,818
22		—	3,114,301	2,995,324	388,800	222,117	1,273,876	7,994,418
23		—	1,062,056	1,547,635	500,010	2,052,668	766,042	5,928,411
24		—	<b>1,453,380</b>	<b>2,722,122</b>	<b>604,918</b>	<b>2,339,458</b>	<b>614,400</b>	<b>7,734,276</b>

(注)「住家等」については、平成16年度以降、集計されていない。

## 2 消 防

### (1) 火災発生状況

平成23年中の火災発生件数は72件で、前年に比べ10件増加しており、約5日に1件の割合で火災が発生したことになる。

市町村別では、奄美市が17件（奄美群島全火災の23.6%）で最も多く、次いで、知名町10件、天城町9件、和泊町8件、瀬戸内町7件、喜界町6件、与論町5件、徳之島町・伊仙町各4件、宇検村・龍郷町各1件、大和村0件の順となっている。

人口（平成23年3月31日住民基本台帳による）1万人当たりの出火件数を表す出火率では、知名町の15.1が最も高く、次いで天城町の13.5、和泊町の11.2、与論町の9.2、喜界町の7.4の順となっている。

火災種別にみると、「建物」火災が33件（奄美群島全火災の45.8%）で最も多く、次いで「その他」火災（田畑の野焼き等の火災）が27件（同37.5%）で前年に比べ8件の増加、「車両」火災が9件（同12.5%）で前年に比べ6件の増加、「林野」火災が3件（同4.2%）で前年に比べ4件の減少、「船舶」「航空機」火災が各0件（同各0%）となっている。

火災による死者は6人で、前年に比べ2人の増加である。また、負傷者は6人で前年に比べ1人の減少となっている。

焼損棟数は52棟で前年に比べ17棟の減少、り災世帯数は27世帯で前年に比べ26世帯の減少、り災人員は53人で前年に比べ48人の減少となっている。

損害額は166,291千円で、前年に比べ35,422千円の増加で、火災1件当たり約2,310千円、1日当たり約456千円が灰になったことになる。

損害額2千万円以上の大きな火災は、平成23年中には発生していない。

出火原因では、「火入れ」が16件（全火災の22.2%）で最も多く、次いで「こんろ」8件（同11.1%）、「たき火」「放火」各5件（同各6.9%）、「たばこ」「電灯・電話等の配線」各4件（同各5.6%）の順となっている。

### (2) 消 防 現 勢

消防本部数は前年と変わらず3本部となっている。消防職員は236人で前年と比べ1人増加し、条例定員に対する充足率は、97.1%である。

また、消防吏員234人の平均年齢は41.7歳となっている。

消防団数は12団で前年と変わりはないが、消防分団数は88分団で、前年に比べ3分団減少している。消防団員は、1,564人で前年に比べ17人増加し、平均年齢は42.0歳で条例定員に対する充足率は95.9%となっている。

各消防本部が管理する消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ等の消防機械のうち、ポンプの充足率は100%（平成21年4月1日時点（3年に1回調査））となっており、救急自動車の所有台数は前年と変わらず21台となっている。

また、火災鎮圧のため必要不可欠な消防水利については、平成21年4月1日時点で充足率83%となっている。

各消防本部が管理する消防ポンプ及び消防水利充足率の県平均は、平成21年4月1日時点で消防ポンプが92%、消防水利は74%であり、県平均と比較すると、消防ポンプ充足率、消防水利充足率ともに県平均以上となっている。

### 16-4 市町村別の火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課  
期間：平成23年1月～12月

市町村名	出火件数							損害額(千円)								
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	
大島地区	奄美市	17	9	3	4			1	56,313	56,064			249			
	大和村															
	宇検村	1	1													
	瀬戸内町	7	3					4	13,930	13,521			398			11
	龍郷町	1						1	1							1
	喜界町	6	2					4	16,021	15,656			80			285
	計	32	15	3	4	0	0	10	86,265	85,241	0	727	0	0	297	0
徳之島	徳之島町	4	2		2				9,902	250		9,652				
	天城町	9	6		2			1	6,271	6,240		15				16
	伊仙町	4	2					2	1,905	1,851						54
	計	17	10	0	4	0	0	3	18,078	8,341	0	9,667	0	0	70	0
沖与論	和泊町	8	1					7								
	知名町	10	3		1			6	20,130	20,080		50				
	与論町	5	4					1	41,818	41,603		215				
	計	23	8	0	1	0	0	14	61,948	61,683	0	265	0	0	0	0
	合計	72	33	3	9	0	0	27	166,291	155,265	0	10,659	0	0	367	0
	平成22年	62	33	7	3	0	0	19	130,869	130,369	0	140	0	0	360	0
	比較	10	0	△4	6	0	0	8	35,422	24,896	0	10,519	0	0	7	0

市町村名	焼損棟数					り災世帯数			り災人員	死傷者		損害面積		1件当たりの損害額(千円)				
	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損		小損	死者	負傷者	建物床面(m <sup>2</sup> )		林野(a)			
大島地区	奄美市	16	2	2	5	7			9	3		6	18	1		821	11	3,313
	大和村																	
	宇検村	1				1												
	瀬戸内町	8	5		2	1			5	2		3	14	1	3	298		1,990
	龍郷町													1				1
	喜界町	3	2	1					2	1	1		2	1		315		2,670
	計	28	9	3	7	9			16	6	1	9	34	4	3	1,434	11	2,696
徳之島	徳之島町	2	1			1			2	1		1	4			26		2,476
	天城町	7	5	1	1				5	3	1	1	6	1	1	300		697
	伊仙町	2	1		1				1			1	1	1		103		476
	計	11	7	1	2	1			8	4	1	3	11	2	1	429		1,063
沖与論	和泊町	1				1											1	0
	知名町	4	3		1				1	1			1			389		2,013
	与論町	8	5			3			2	1		1	7		2	429	2	8,364
	計	13	8	0	1	4			3	2	0	1	8		2	818	3	2,693
	合計	52	24	4	10	14			27	12	2	13	53	6	6	2,681	14	2,310
	平成22年	69	34	4	19	12			53	26	4	23	101	4	7	3,049	28	2,111
	比較	△17	△10	0	△9	2			△26	△14	△2	△10	△48	2	△1	△368	△14	199

※火災種別が2以上複合する火災は、焼き損害額の大なるものの種別に計上。

### 16-5 月別火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課  
期間：平成23年1月～12月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	10	11	10	7	7	3	3	6	1	3	3	8	72
前年件数	12	4	6	4	5	4	3	2	5	8	6	3	62
増減数	△2	7	4	3	2	△1	0	4	△4	△5	△3	5	10





## 3 警 察

### (1) 交通事故発生状況

平成24年の交通事故の人身事故発生件数は、285件で前年に比べ23件増加した。

交通事故による死者は8人で、前年に比べ4人増加、傷者については333人で41人増加した。

件数を市町村別にみると、奄美群島で件数の最も多いのは奄美市の113件（全体の39.6%）で、次いで徳之島町の33件（同11.6%）となっている。また、島別に件数の割合をみると、大島本島53.7%、喜界島4.9%、徳之島24.2%、沖永良部島14.4%、与論島2.8%となっている。

死者は、奄美市で2人、宇検村、龍郷町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町で各1人の合計8人となっており、前年に比べ奄美市、宇検村、龍郷町、伊仙町は各1人増加している。

人口1万人当たりの死傷者数は、宇検村、龍郷町、伊仙町が48人、和泊町が36人、知名町が32人となっており、最も少ないのは瀬戸内町、与論町の15人となっている。

### (2) 刑法犯発生状況

平成23年の刑法犯の総認知件数は、527件で前年に比べ113件の減少となっている。

市町村別にみると件数が最も多いのが、奄美市の292件（全体の55.4%）で前年と比べると72件の減少、次いで徳之島町の47件（8.9%）で前年に比べ9件減少した。

罪種別にみると、窃盗犯が398件（全体の75.5%）と犯罪の大部分を占めている。

なお、検挙件数は223件となっている。

## 16-9 市町村別交通事故発生状況

資料：県警察本部交通企画課  
 期間：平成24年1月～12月  
 単位：人，件，台数

区分 市町村名	人口	件数 (人身)	死者	傷者	前年比増減			車両台数			人口1万人 当たりの 死傷者数
					件数 (人身)	死者	傷者	原付・自二 特殊農耕	自動車	合計	
総数	115,800	285	8	333	23	4	41	24,575	78,244	102,819	29.4
大島本島	64,216	153	4	186	-4	3	17	10,129	38,475	48,604	29.6
奄美市	45,076	113	2	133	-2	1	10	7,737	26,096	33,833	29.9
大和村	1,665	3		3				116	1,117	1,233	18.0
宇検村	1,875	4	1	8		1	3	138	1,416	1,554	48.0
瀬戸内町	9,569	14		14	-3		-5	1,443	5,628	7,071	14.6
龍郷町	6,031	19	1	28	1	1	9	695	4,218	4,913	48.1
喜界島	7,793	14		16	9		11	1,705	5,813	7,518	20.5
喜界町	7,793	14		16	9		11	1,705	5,813	7,518	20.5
徳之島	24,921	69	3	78	17	1	11	5,151	20,250	25,401	32.5
徳之島町	11,811	33	1	34	3		-3	2,536	8,707	11,243	29.6
天城町	6,460	9	1	13	-6		-6	1,425	5,660	7,085	21.7
伊仙町	6,650	27	1	31	20	1	20	1,190	5,883	7,073	48.1
沖永良部島	13,565	41	1	45	1		2	5,309	10,392	15,701	33.9
和泊町	6,979	23	1	24	2		2	2,718	5,536	8,254	35.8
知名町	6,586	18		21	-1			2,591	4,856	7,447	31.9
与論島	5,305	8		8				2,281	3,314	5,595	15.1
与論町	5,305	8		8				2,281	3,314	5,595	15.1

注：1 人口は平成24年10月1日現在  
 2 車両台数は平成24年3月末現在

# 16-10 刑法犯市町村別発生状況

資料：鹿児島県警察本部刑事企画課  
 期間：平成23年1月～12月

市区町村	包括罪種		凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯	総計	平成22年 の状況
奄美市	認知		1	23	227	7	1	33	292	364
	検挙		1	23	75	7	1	9	116	117
大和村	認知		0	0	0	0	0	0	0	4
	検挙		0	0	0	0	0	0	0	7
宇検村	認知		0	0	1	0	0	0	1	10
	検挙		0	0	0	0	0	0	0	9
瀬戸内町	認知		0	4	25	0	0	3	32	53
	検挙		0	4	11	0	0	0	15	65
龍郷町	認知		0	1	16	0	0	2	19	31
	検挙		0	1	6	0	0	1	8	15
喜界町	認知		0	0	12	0	0	8	20	34
	検挙		0	1	3	0	0	2	6	26
徳之島町	認知		1	8	32	1	0	5	47	56
	検挙		1	8	3	2	0	3	17	31
天城町	認知		1	0	24	1	0	4	30	17
	検挙		1	0	8	0	0	0	9	6
伊仙町	認知		0	3	29	1	0	4	37	21
	検挙		0	2	9	0	0	1	12	11
和泊町	認知		0	4	10	4	0	1	19	18
	検挙		0	4	7	1	0	1	13	7
知名町	認知		1	4	13	0	0	1	19	23
	検挙		1	5	14	0	0	1	21	11
与論町	認知		0	2	9	0	0	0	11	9
	検挙		0	2	4	0	0	0	6	8
総計	認知		4	49	398	14	1	61	527	640
	検挙		4	50	140	10	1	18	223	313

※検挙件数については、発生地計上方式をとっている。

### 包括罪種の内訳

- 凶悪犯……殺人，強盗，放火，強姦
- 粗暴犯……暴行，傷害，脅迫，恐喝など
- 窃盗犯……窃盗
- 知能犯……詐欺，横領，偽造など
- 風俗犯……賭博，わいせつ
- その他の刑法犯……上記以外の刑法犯

## 4 海上保安

奄美海上保安部管内において、平成23年に発生した船舶海難は、12隻であり前年に比べ2隻増加した。

種類別に見ると機関故障、乗揚、転覆の順となっている。原因別では、見張り不十分、船体機器整備不良、船位不確認などの人的ミスによるものが大半を占めている。

また、平成23年の人身事故者数は30名であり、昨年と比べ11名増加している。事故種類別としては、遊泳中及び磯遊び中の事故者が増加しており、多くは遊泳や磯遊びをする場所についての知識不足や技能不足などが原因となっている。

海難発生時の救助活動は時間との闘いでもある。よって広い奄美の海域では、漁協や海上工事業者などを主体とする民間救助団体の組織化及びその協力は不可欠である。これらの状況を踏まえて、「水難救済会与論救難所」が、平成7年に設置されたのを契機として、平成14年までに奄美群島内の全市町村に救難所が設置され、救助活動を実施している。

さらに、漁業組合やプレジャーボート関係者等を母体として組織された各地区小型船交通安全協議会の海上安全指導員は、海上における小型船による海難事故の未然防止を図るための活動を実施している。

名瀬港長（奄美海上保安部長）は、名瀬港内における港船舶交通の安全及び港内の整とんを図るため、海上工事や行事許可、危険物荷役の許可、入出港届の受理などを行っている。また、海上保安部は、毎年、奄美群島の各漁業協同組合の総会に出席し、海難防止講習会を行うほか、大島支庁が実施する漁船登録の検認に同行し、漁船に対して海難防止指導を実施している。

奄美海上保安部の管理する灯台は、管内で最古の曾津高埼灯台（明治29年11月初点）を初めとする沿岸灯台18基、その他の防波堤灯台・導灯・指向灯・照射灯20基の合計38基がある。そのうち約半数は太陽電池化及びLED化されている。

また、「海の情報」を提供する業務を行っている。平成15年2月からMICS（沿岸域情報提供システム）を運用し、奄美群島の沿岸を航行する船舶・漁船やマリレジャーを楽しむ人々へ向けて、海の安全に関する情報（灯台で観測された気象情報、ライブ映像、海上工事の計画情報等）をインターネット・ホームページ（携帯電話を含む。）で提供し海難の未然防止に役立てている。

### 16-11 海難事故の発生状況

#### （ア）要救助船舶隻数等の推移

項目	年		
	平成21年	平成22年	平成23年
海 難 隻 数 (隻)	25	10	12
死 亡 ・ 行 方 不 明 者 数 (人)	0	1	0

#### （イ）船舶海難の種類別内訳

(隻)

種 類	種 類											合 計
	衝突	乗 揚	転 覆	火 災	浸 水	機 関 故 障	推 進 器 障 害	運 航 阻 害	行 方 不 明	そ の 他		
平 成 2 1 年	8	5	2	1	0	2	0	4	0	3	25	
平 成 2 2 年	2	4	0	0	1	0	0	1	1	1	10	
平 成 2 3 年	0	3	3	0	0	4	0	1	0	1	12	

## 16-12 海上における人身事故

### (ア) 人身事故者数の推移

(人)

項目	平成21年	平成22年	平成23年
事故者数	38	19	30
死亡・行方不明者数	12	11	11

(注) 死亡・行方不明者数は、事故者数の内数。

### (イ) 人身事故の種類別内訳

(人)

	船舶乗船中の人身事故					海浜事故				合計
	海中転落	負傷	病気	中毒	その他	遊泳中	磯遊び中	磯釣中	その他	
平成21年	5	4	0	0	0	4	4	0	21	38
平成22年	1	2	0	0	0	2	1	0	13	19
平成23年	0	3	3	0	0	5	3	1	15	30

## 16-13 機動力 (巡視船艇)

期日：平成23年12月31日

船名	所属	総トン数	航行区域	就役年月
か い も ん	奄美海上保安部	220	近海	平成16年4月
い そ な み	"	149	近海	昭和56年3月
う け ゆ り	古仁屋海上保安署	26	沿海近海	平成21年4月
ば る さ あ	"	4.7	沿海	平成8年3月

## 16-14 民間救助組織

期日：平成23年12月31日

組織の区分	組織の名称	代表者	住所	救助勢力
鹿児島県水難救済会	与論救難所	南 政 吾	鹿児島県大島郡与論町茶花32-1	人員 130名
鹿児島県水難救済会	和泊救難所	伊 地 知 実 利	鹿児島県大島郡和泊町和泊10	人員 36名
鹿児島県水難救済会	知名救難所	平 安 正 盛	鹿児島県大島郡知名町知名307	人員 40名
鹿児島県水難救済会	喜界救難所	加 藤 啓 雄	鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地	人員 75名
鹿児島県水難救済会	天城救難所	大 久 幸 助	鹿児島県大島郡天城町平土野2691-1	人員 58名
鹿児島県水難救済会	伊仙救難所	大 久 保 明	鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842	人員 102名
鹿児島県水難救済会	龍郷救難所	川 畑 宏 友	鹿児島県大島郡龍郷町浦110	人員 245名
鹿児島県水難救済会	住用支所	朝 山 毅	鹿児島県奄美市住用町大字西仲間111	人員 17名
鹿児島県水難救済会	笠利支所	朝 山 毅	鹿児島県奄美市笠利町大字中金久141	人員 53名
鹿児島県水難救済会	宇検救難所	元 田 信 有	鹿児島県大島郡宇検村湯湾915	人員 245名
鹿児島県水難救済会	大和救難所	伊 集 院 幼	鹿児島県大島郡大和村大和浜100	人員 193名
鹿児島県水難救済会	名瀬支所	朝 山 毅	鹿児島県奄美市名瀬幸町25-8	人員 74名
鹿児島県水難救済会	瀬戸内救難所	房 克 臣	鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23	人員 50名
鹿児島県水難救済会	徳之島町救難所	高 岡 秀 規	鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203	人員 245名

## 16-15 船舶交通安全協議会

期日：平成23年12月31日

組織の名称	会員数	設立年月日	主な活動海域
奄美地区小型船交通安全協議会	50名	昭和49年12. 17	奄美大島（奄美市名瀬）
瀬戸内町小型船舶交通安全協議会	66名	昭和57年10. 6	奄美大島（瀬戸内町）
喜界島地区小型船交通安全協議会	54名	平成 5年 9. 27	喜界島周辺海域
奄美群島瀬渡船安全対策協議会	12名	昭和60年 7. 29	奄美大島（奄美市名瀬）
与論島地区小型船交通安全協議会	50名	平成 5年 9. 27	与論島周辺海域
沖永良部島・和泊地区小型船交通安全協議会	40名	昭和60年 7. 29	沖永良部島周辺海域

## 16-16 奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況

期日：平成23年12月31日

単位：基

市町村別	区分	灯台	導灯	指向灯	照射灯	計
( 奄 美 大 島 )		15	1		1	17
奄 美 市		7	1			8
大 和 村		1				1
宇 検 村						
瀬 戸 内 町		6				6
龍 郷 町		1			1	2
( 喜 界 島 )		4	1			5
喜 界 町		4	1			5
( 徳 之 島 )		5	1		1	7
徳 之 島 町		2	1		1	4
天 城 町		2				2
伊 仙 町		1				1
( 沖 永 良 部 島 )		2	2	1		5
和 泊 町		1	2			3
知 名 町		1		1		2
( 与 論 島 )		2	1	1		4
与 論 町		2	1	1		4
合 計		28	6	2	2	38

(注) 奄美大島には、加計呂麻島、請島、与路島を含む。

## 16-17 奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会

期日：平成23年12月31日

会長名	事業所名	加入団体数	設立年月
中 田 留 弘	奄美ダイビングセンターとめ	40	平成元年 4 月